

# 地域包括ケア「見える化」システム による介護保険事業の現状分析

令和5年3月

育てる喜び、育む **幸** せ。

**南幌町**

TOWN NANPORO

## 目 次

地域包括ケア「見える化」システムとは .....	2
地域包括ケア「見える化」システムによる分析 .....	3
(1) 南幌町の人口の推移 .....	3
(2) 高齢化率 .....	4
(3) 高齢者独居割合 .....	5
(4) 認定済み認定率 .....	6
(5) 受給率 .....	8
(6) 調整済み給付月額 .....	11
ま と め ( 考 察 ) .....	14

## 地域包括ケア「見える化」システムとは

地域包括ケア「見える化」システムは、都道府県・市町村における介護保険事業（支援）計画等の策定・実行を総合的に支援するための情報システムです。

介護保険に関連する情報をはじめ、地域包括ケアシステムの構築に関する様々な情報が本システムに一元化され、かつグラフ等を用いた見やすい形で提供されます。

本システム利用の主な目的は、以下のとおりです。

- 地域間比較等による現状分析から、自治体の課題抽出をより容易に実施可能とする。
- 同様の課題を抱える自治体の取組事例等を参照することで、各自治体が自らに適した施策を検討しやすくする。
- 都道府県・市町村内の関係者全員が一元化された情報を閲覧可能となることで、関係者間の課題意識や互いの検討状況を共有することができ、自治体間・関係部署間の連携が容易になる。

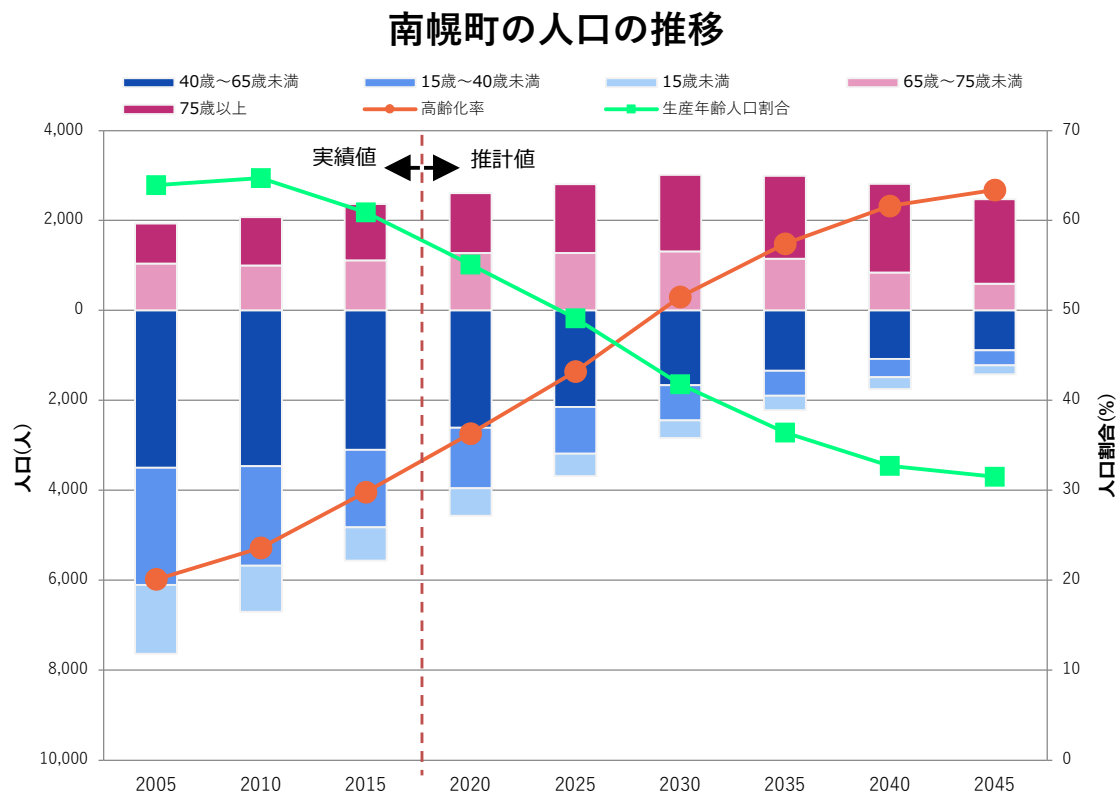
本現状分析は、地域包括ケア「見える化」システムを活用し、地域間比較等により、本町の特徴を分析した結果となります。



# 地域包括ケア「見える化」システムによる分析

## (1) 南幌町の人口の推移

- 南幌町の総人口は1998年（H10）の9,995人のピークを迎えてから緩やかに減少を続けており、2045年（R27）には3,893人になる見込みです。
- 65歳以上の人口は年々上昇を続け、2030年（R12）年の3,014人でピークを迎え、以降は減少しますが、2045年（R27）には2,470人となり、これは2005年（H17）の889人に対して約1.3倍の増加と見込みとなっています。



南幌町の高齢化率の降順				
2015年10月時点	北海道内（156 保険者）	128 番目	全国（1,565 保険者）	894 番目
2025年の推計値	北海道内（156 保険者）	48 番目	全国（1,512 保険者）	358 番目
2040年の推計値	北海道内（156 保険者）	3 番目	全国（1,565 保険者）	37 番目

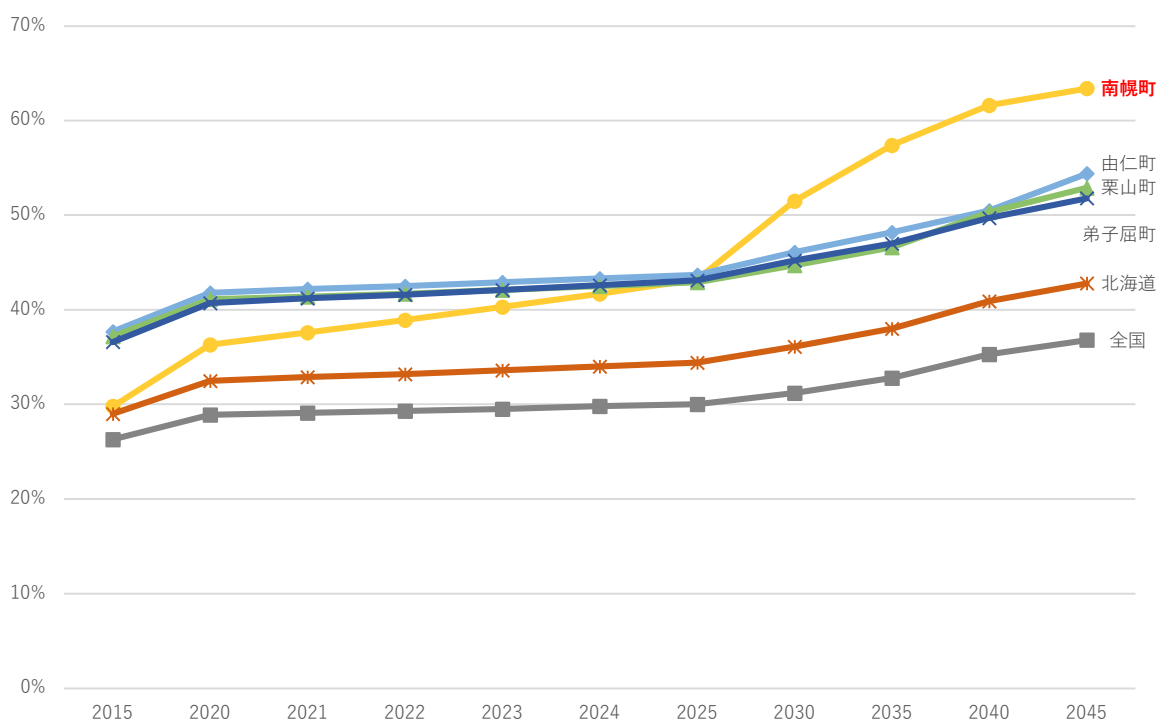
（出典）2000年～2015年まで：総務省「国勢調査」

2020年以降：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018年推計）」

## (2) 高齢化率

- 南幌町の高齢化率は、北海道や全国より高くなっています。
- 近隣2町（由仁町・栗山町）と人口規模が近い弟子屈町と比較すると2025年（R7）までは低いですが、2030年（R12）以降は約10%高くなっています。

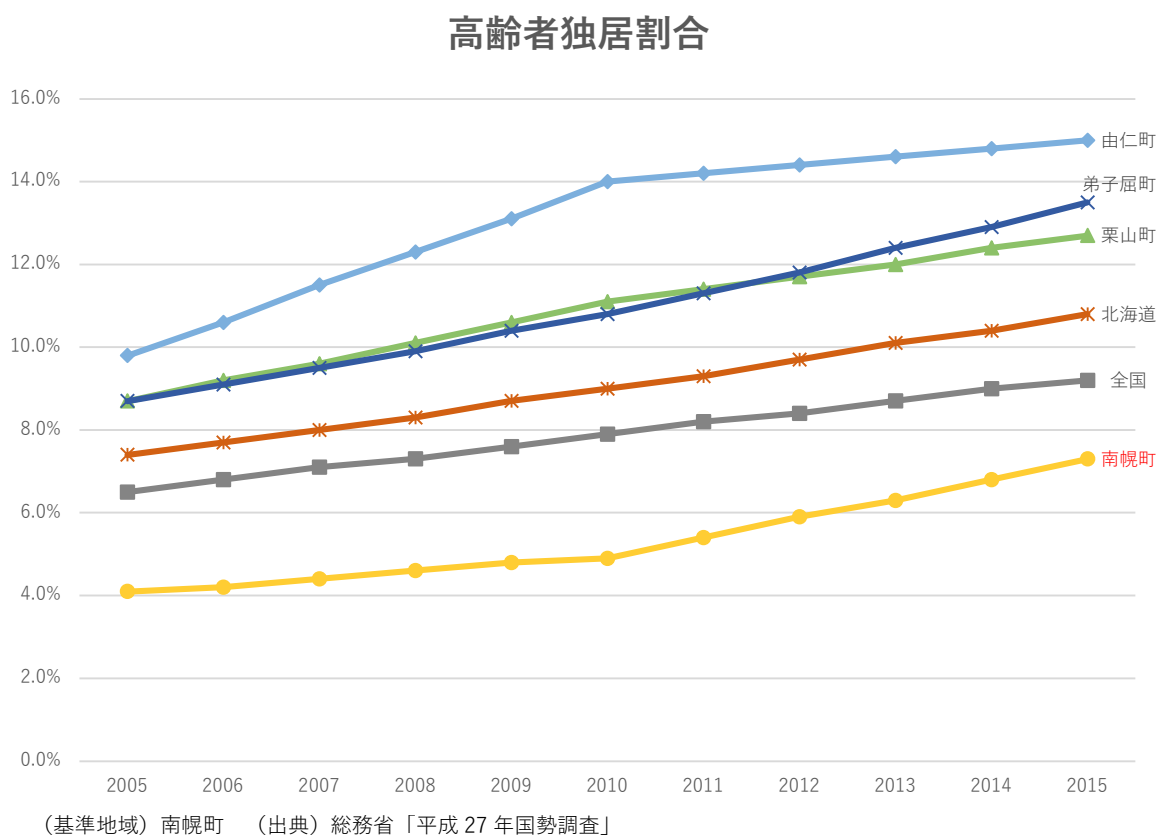
南幌町の高齢化率



（基準地域）南幌町 （出典）総務省「国勢調査」及び国立社会保障・人口問題研究所「の日本の地域別将来推計人口」

### (3) 高齢者独居割合

- 南幌町の高齢者独居割合は、北海道や全国と比べて低くなっています。
- 比較する3町と比べても低くなっていますが、今後の高齢化率が高まることに伴い独居割合も高まる見込みです。



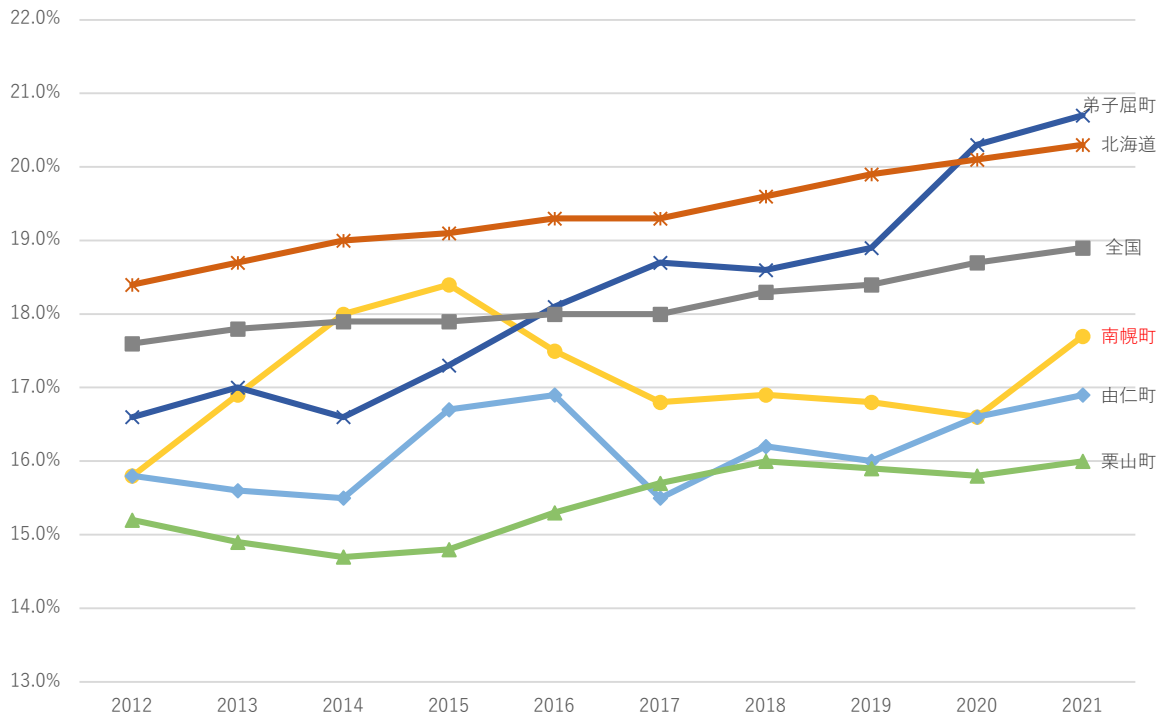
## （４）認定済み認定率

### 【調整済み認定率とは】

調整済み認定率とは、認定率の大小に影響を及ぼす「第１号被保険者の性・年齢別人口構成」の影響を除外した認定率の事です。後期高齢者の割合が高い場合、認定率が高くなることから、施策検討のために年齢構成による認定率への影響を除外しています。性・年齢調整をすることで、全国平均と同様になるように調整し、認定率の地域間での比較がしやすくなります。

- 南幌町の調整済み認定率は、北海道と比べて低く、全国と比べると 2014 年（H26）と 2015 年（H27）年のみ高くなっていますが、他年度は低くなっています。
- 近隣 2 町（由仁町・栗山町）と比べると高くなっていますが、弟子屈町と比べると 2015 年（R27）以降は低くなっています。
- 2021 年（R3）の重度認定率（要介護 3～5）は北海道とほぼ同じで、全国と比べると低くなっています。
- 2021 年（R3）の軽度認定率（要支援 1～要介護 2）は北海道よりは低く、全国とほぼ同じになっています。

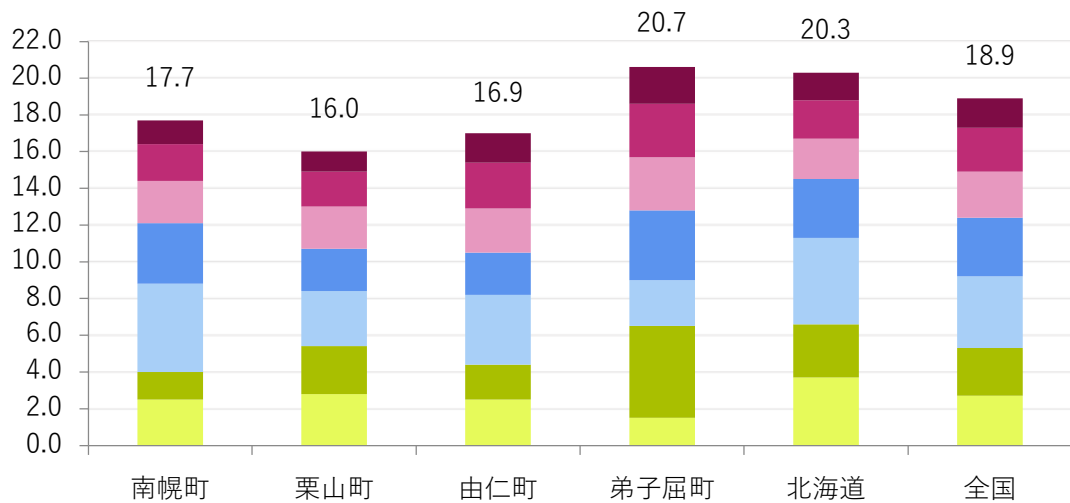
## 調整済み認定率



(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報 (2021(R3)年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)  
および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

## 調整済み認定率（要介護度別）（2021年(R3)）

■ 要支援1 ■ 要支援2 ■ 経過的要介護 ■ 要介護1 ■ 要介護2 ■ 要介護3 ■ 要介護4 ■ 要介護5



(時点) 令和3年(2021年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報 (令和3年度のみ「介護保険事業状況報告」月報) および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

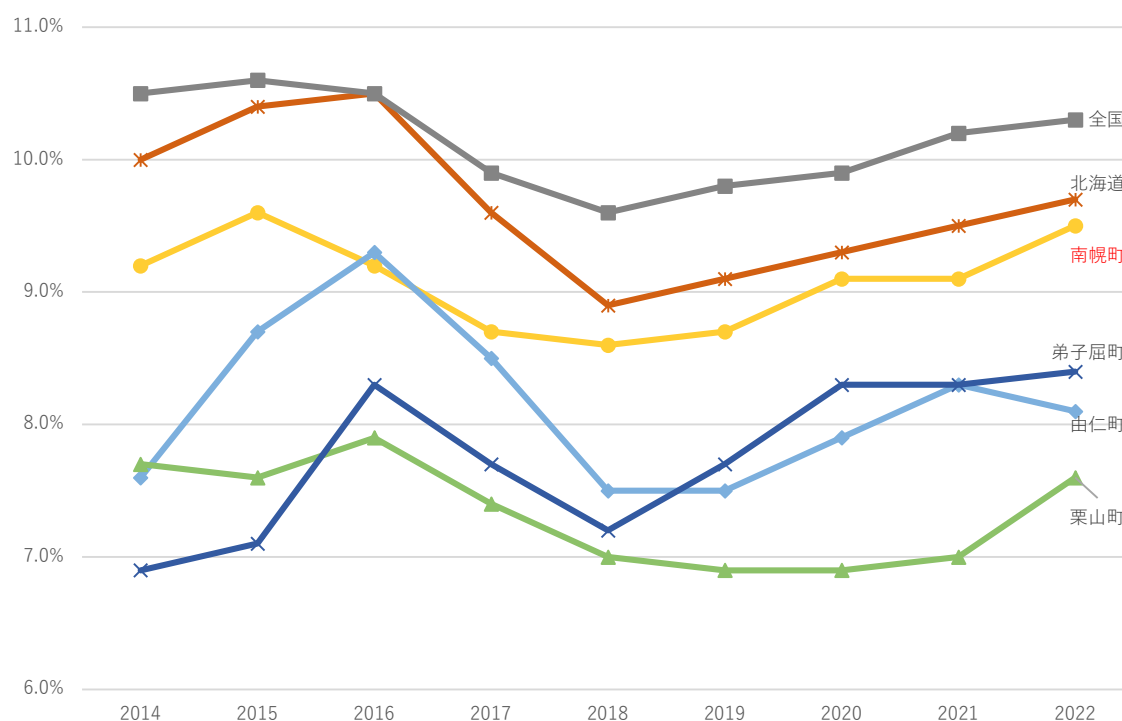


## (5) 受給率

### ア 在宅サービス

- 在宅サービスの受給率は、北海道や全国と比べると低くなっています。
- 3町と比べると高くなっています。理由は、軽度者が多いことが理由だと考えられます。

在宅サービス受給率

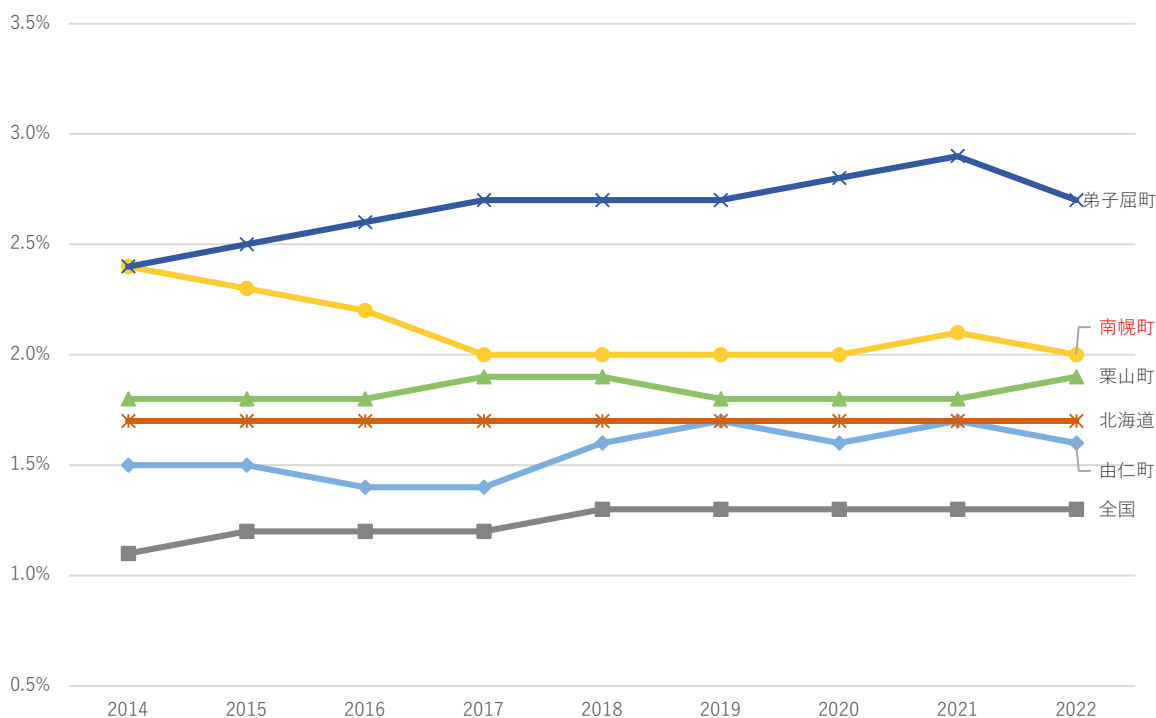


(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(2021(R3)、2022(R4)年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)

## イ 居住系サービス

- 居住系サービスの受給率は、北海道や全国と比べると高くなっています。
- 弟子屈町と比べると低くなっていますが、近隣2町（由仁町・栗山町）と比べると高い傾向となっています。要因は、グループホームが4ヶ所、サービス付き高齢者向け住宅が1ヶ所と居住系サービスが近隣2町よりも多いことが考えられます。また、近年では、町外のサービス付き高齢者向け住宅へ入居する方が増加しており、継続して高い傾向で推移していくと考えられます。

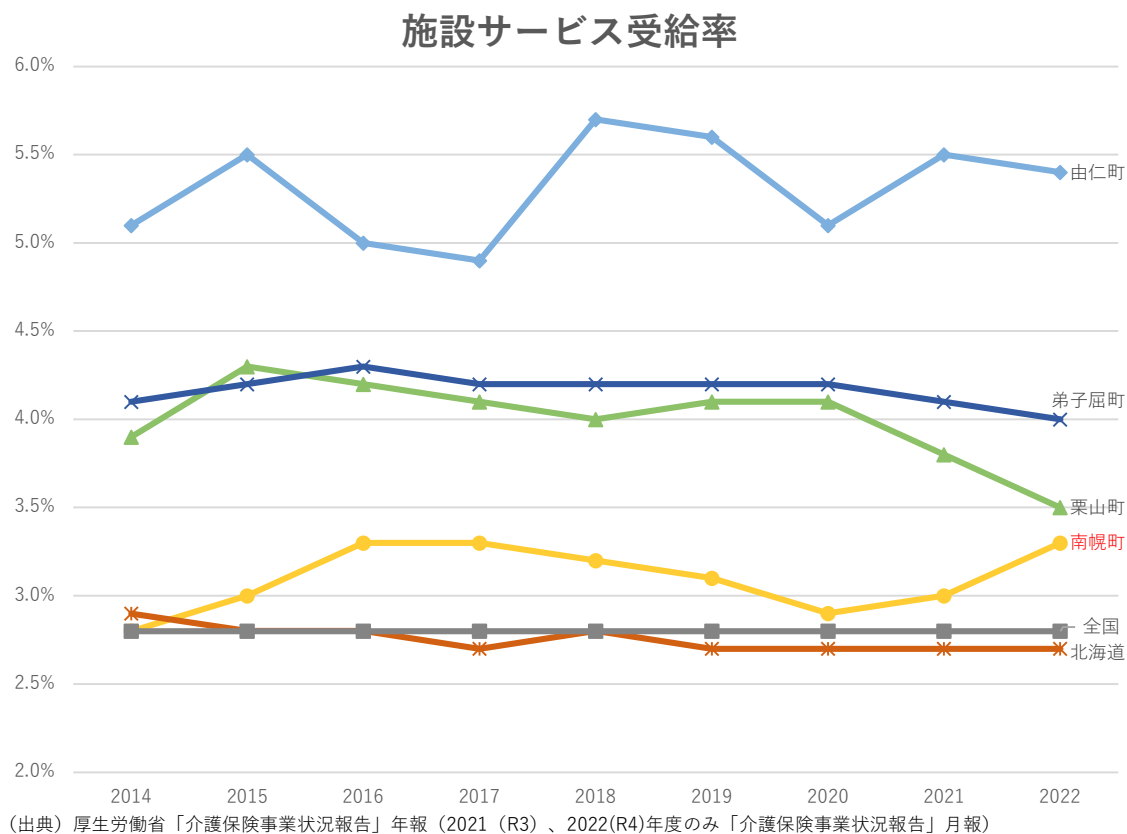
居住系サービス受給率



（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（2021（R3）、2022(R4)年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

## ウ 施設サービス

- 施設サービスの受給率は、北海道や全国と比べると高くなっています。
- 3町と比べると低い傾向ですが、3町よりも高齢化のピークが遅いことが要因と考えられるため、今後は増加すると考えられます。



※各受給率の2021年(R3)及び2022年(R4)の数値は、2021年(R3)はR4/2月サービス提供分まで、2022年(R4)はR4/9月サービス提供分までの数値となっています。

## （６）調整済み第１号被保険者１人あたり給付月額

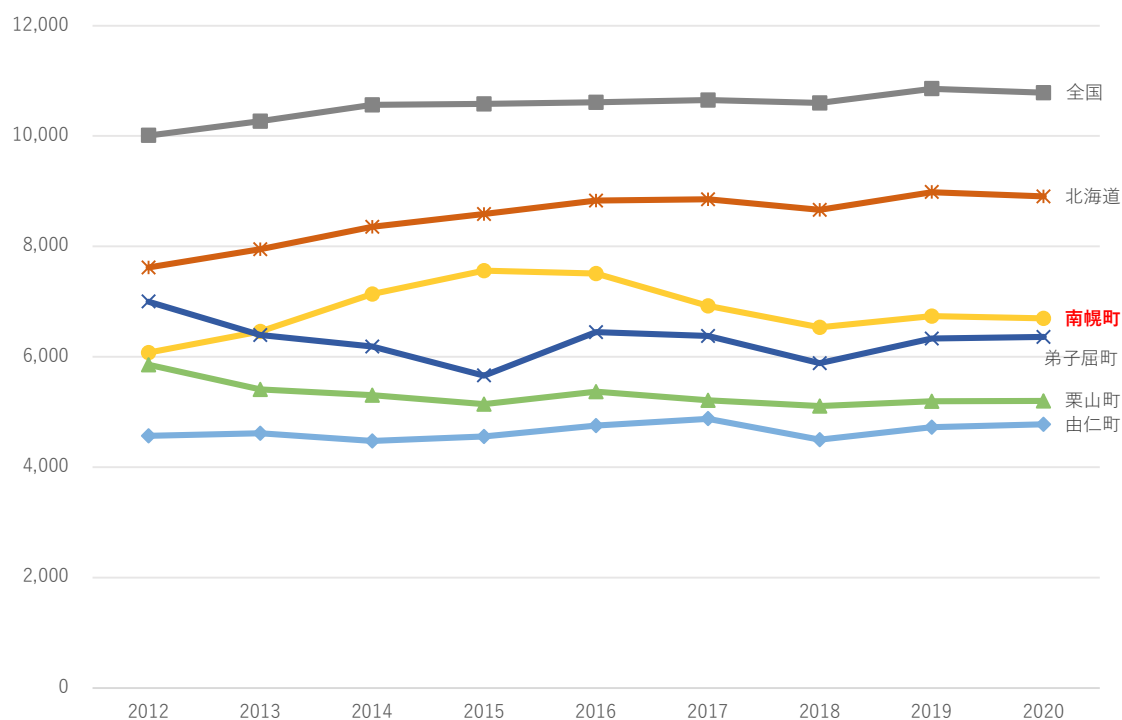
### 【調整済み第１号被保険者１人あたり給付月額とは】

調整済み第１号被保険者１人あたり給付月額（以下、調整済み給付月額という。）とは、給付費の多寡に大きな影響を及ぼす、「第１号被保険者の性・年齢構成」と「地域区分別単価」の影響を除外した給付月額のことです。

### ア 在宅サービス

- 在宅サービスの調整済み給付月額は、北海道や全国と比べると低くなっています。
- ３町と比べると、高い傾向となっています。これは、軽度者が多いことが要因だと考えられます。

在宅サービス 調整済み給付月額

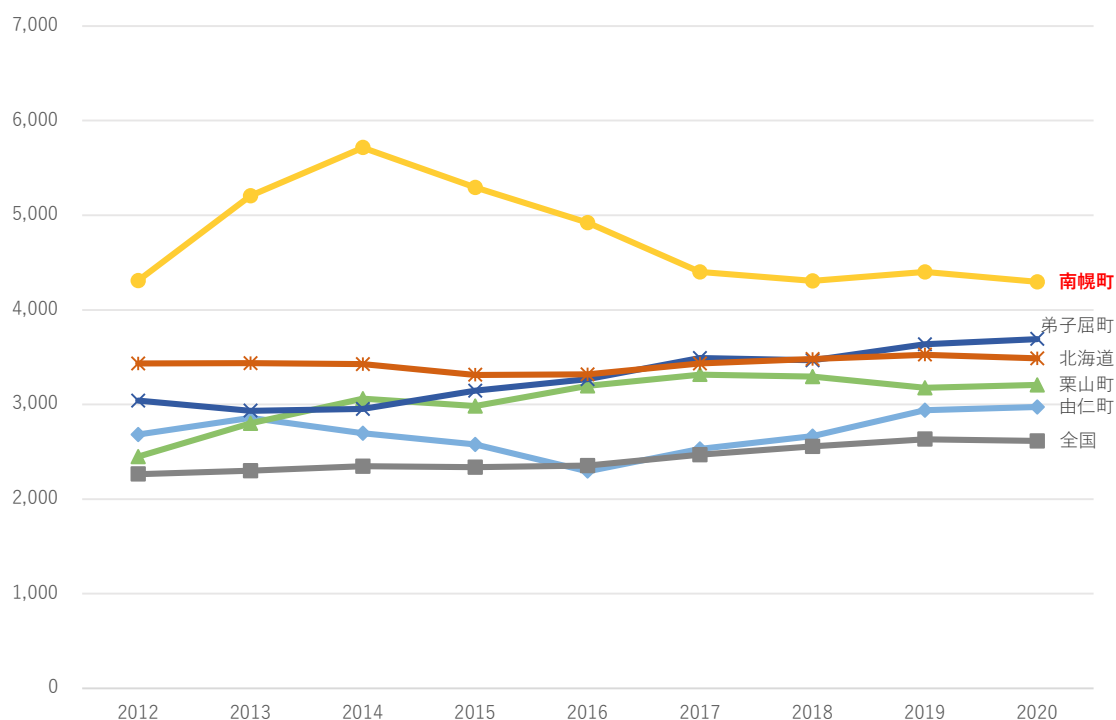


（出典）「介護保険総合データベース」および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

## イ 居住系サービス

- 居住系サービスの調整済み給付月額、北海道や全国と比べると高くなっています。
- 3町と比べると高くなっています。要因は、グループホームが4ヶ所、サービス付き高齢者向け住宅が1ヶ所と居住系サービスが多いことが考えられます。また、近年では、町外のサービス付き高齢者向け住宅へ入居する方が増加しており、継続して高い傾向で推移していくと考えられます。

居住系サービス 調整済み給付月額

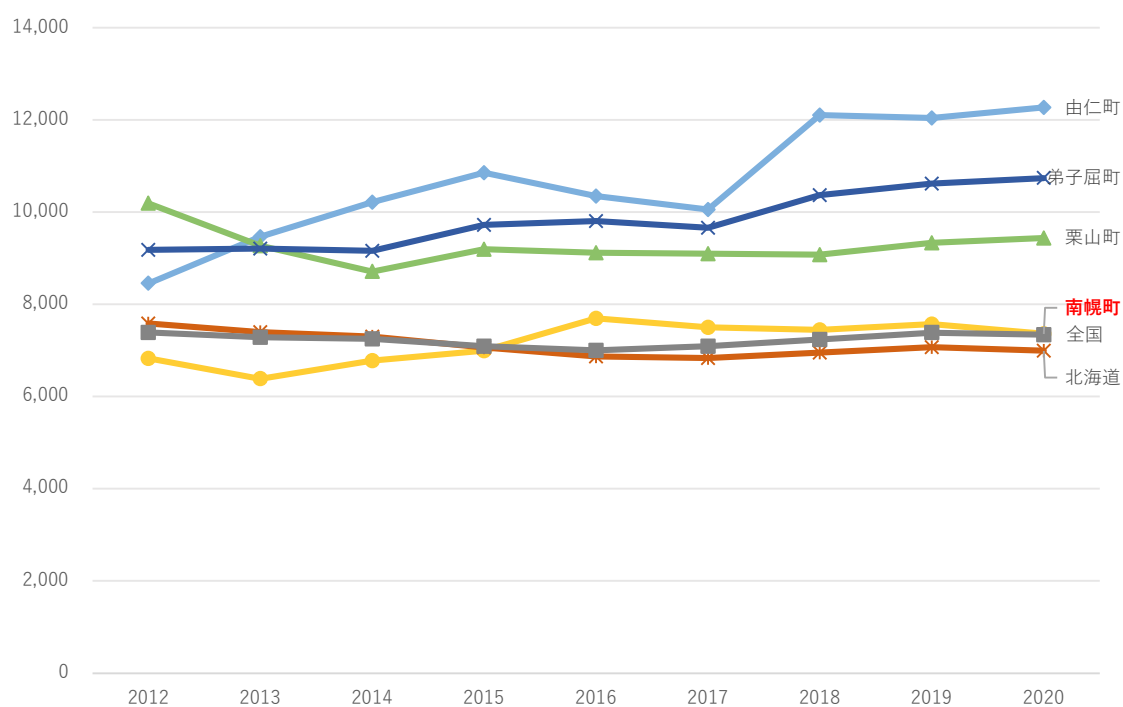


(出典) 「介護保険総合データベース」および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

## ウ 施設サービス

- 施設サービスの調整済み給付月額、北海道や全国と比べるとほぼ同じ水準で推移しています。
- 3町と比べると低くなっていますが、要因は3町より高齢化のピークが遅いことが考えられるため、今後は高くなると考えられます。

施設サービス 調整済み給付月額



(出典) 「介護保険総合データベース」および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

## ま と め（考察）

### 認定率について

北海道や全国と比べると低くなっています。要因としては、2025 年（R7）までは、3 町とほぼ同じであった高齢化率がそれ以降、高くなっていることが示すとおり、高齢化のピークが他の市町村よりも後年になっていることが影響していると考えられます。

2021 年（R1）をみると、軽度認定率は、近隣 2 町（由仁町・栗山町）と比べると高くなっています。今後も高齢化率の増加に伴い、増加することが予想されるため、軽度認定者が重度化していかないように健康支援事業等を推進し、自立した日常生活を支援できるようにすることが必要だと考えます。

### 受給率について

在宅サービスが 3 町より高く、居住系サービスが近隣 2 町（由仁町・栗山町）より高くなっています。要因としては、軽度認定者が増加傾向にあることや人口規模に比べてグループホームやサービス付き高齢者向け住宅が多くあることが影響していると考えられます。しかし、現状では、施設サービスは抑えられていることがわかります。

### 調整済み給付月額について

居住系サービスが北海道や全国、3 町と比べても高くなっているの目立ちます。要因としては、受給率で述べたことと同じとなります。

今後の認定者数の増加により居住系サービスと施設サービスで対応することが多くなると予想されますが、経済面等の要因で在宅サービスに頼らざるおえない方の対応が今後の課題となるため検討していく必要があると考えます。

